

A組

今考えてみると短い年間で
洛星に在れば今の自分
はなかった。深尾 暢之
GOOD LUCK
藤戸 俊行
何事も懸命にやれば必ず報
われる。魏 洋
袖ふりあつても他生の縁
原田 憲一
瘦せたけどお菓子食って
また太る。今江 公亮
メタル魂! ジャパメタ愛!!
有難う!! 稲垣 導彦
雨が降ろうが傘がふろうが
チャリ通 石川 大介
カツツ! この由來は教え
られない! 石川 正俊
冤罪
川合健太郎
オケとタブローが僕の青春
でした! 河野 唱
うどん大盛! プラス三十円で
特盛 木越 勝也
担任はやっぱりガクジに
限るね! 木村 嘉男
バス故障! 喋喋り6恐喝
92傷害2回 木下 直也
ながかつたおもったよりも
ながかつた! 小堀 琢也
M上模試さばってPRID

B組

もっと周りの人に配慮しろ
もってつてみれば楽しい三
年間で! 藤本 恭輔
高3がニチエ語んな 藤田 英起
気がつけば3年間も過ぎて
いました。船橋 信也
カーテンキヤッチ失敗して
すいません。花光 政和
高校生活は短いので有意義
につかってね。日永田陽大
成功とは、九九%の閃きと
一%の汗だ。菱田 圭亮
ソロソロやった方がいん
じゃない? 石田 悠貴
つかれた。兼元 健嗣
さよなら洛星! ヴィクトール
生活 北村 允
高2の諸君、来年一緒に頑

E行くな。久加天一生
さいもん卒業
無断で転用することを禁じ
ます。樹本 敏弘
ミルコの体が欲しい
村上 達紀
とりあえずしつつか
中村 真也
夢は高く大きく
中田 慶志
今年で勉強やめよう
西村 拓哉
「何はあおし、此の歳月」
西村 直
ジョゼと虎と魚たち
西山 裕之
とにかく長い3年だった。
奇藤 亮介
私は洛星演劇部のことを忘
れはしない。澤 久遠
俺の憧れアラスカ帰りのチ
ェンソー 清水 晃生
常識のない生き方、で進
むと決めた。下村 悠介
前ばかり見ず後ろを見る。
白江 祐介
洛星での6年間は一生の宝
物です。竹田 昭彦
平山そつた頑張り! カレン
をこころ! 田辺 泰博
けつこうおもしろかった。
田中 伸幸
今までどうもありがとう
ございました。谷口 真彦
感動した。
小橋 正典
充実した3年間だった。
近藤 直輝
洛星で魅力のある人間にな
つてくれ! 前川 由貴
結局後悔ばかりするんだ
よね。丸上 剛
これでも洛星とはおさら
ばだ! 正木 聡康
勉強ちゃんとやっときや!
勉強ちゃんやっときや!
事故に気をつけよう。
松尾 俊明
お前ら、まだまだしよんべ
んくせえ!! 水島健太郎
七時間・文化祭短縮・土曜
休み反対! 森川 高行
雨ガアガル様ニ静カニ死ン
デユコウ。永安 佑巳
六年間はやかた! 中嶋 佑介
俺と関わったみんなありが
とう。中村 朋輝



サハはアンリを、えるのか
??? 立山 裕貴
どうすればいいかわからへ
ん3年間のしかなかった。
ありがとう。宇野比呂史
三葉の写真に映る不快な姿
オッス。おらも悟った。
八木 優
「げんしけん」入れと言っ
た。山本 剛平
絶対、Aクラスは最高!!
卒業も早いものだ。矢野 毅行
卒業も早いものだ。吉川 弘通

臨機応変。
中嶋 篤蔵
勉強よりも泳ぐ方がしんど
かった。中川 勝盛
トマナ先生サイコ
禁欲生活貫いたつたし
さらば洛星。
岡 宏樹
ゆつくり急げ。岡崎 隆志
つぎ。奥野 靖典
すったもんだしよう
笹谷 誠吾
将来したい事は早目に見つ
けよう。佐藤 文昭
たのしかった。
澤浦 佑喜
今を生き、過去を忘れず、
未来を創る。高橋 瑞輝
大風呂敷はいが、嘘はい
けません。竹内 寛喜
洛星で沢山の事を学んだ。
谷口圭二郎
まー楽しかった。

C組

感謝(シエシ)
藤村 洋一
英語は慣れと努力とセンス
だ。乾 貴行
無理して通れど成果は続か
ず。石崎 俊
合格通知Come on!!
垣本 正信
祝!! 卒業!!
鎌田 雄太
洛星は絶対、関西一平和な
学校です。金山 尚之
努力を面倒だと思つ場合じ
やない! 河野 証昭
洛星はユニークな人ばっか
りですね。木下 歩
おいしいトロピカルをあり
がとう。木幡 邦彦
サッカー部ありがたう。
小川 威彦
洛星大学があつたらよかつ
たのに。前田 圭亮
反響板同好会、撤回!!

てき 前西 遼
忍! 舞鶴 展祥
俺は見つけるべきものを見
つけた!! 南 佳秀
春からは駿台に行つてませ
んように。光澤 定己
光陰矢の如し。
宮田 佳和
Nice Day Isn't It
受験も大切だけど学校生活
も大切に。森 智弥
受かつてから滑れ!
村田翔太郎
浪人も貴重な経験というこ
とで。永澄 悠太
早く免許とりええ
魅せる筋肉スィマー!
西井 慎
「〇多過ぎ」と聞く度ビ
クッとした。大杉 祥広
すべり落ちてゆきまじろ奈
落の底へ。太田皓一朗
洛星に入つて良かった。そ
れに尽きる。佐賀 信之

センターなぐなれ!
斉藤 芳明
定員割れ望む!!
澤野 天則
後悔しないように楽しく生
きて下さい。園田 明弘
LOVE♡東大寺
杉島 明典
なぜか。なぜか。なぜか。な
らぬ、何事も。高山 勝平
京都、洛星高校は王者の風
よ! 田中康太郎
あつけない6年間だった。
戸田真太郎
まだまだ...またおわらんよ
!! 辻 洗介
文芸装飾パート員、随時募
集中。上田 晃寿
今からしつかり勉強しとけ
よ!! 渡辺 慧
こうやって年とつてくんな
ろなあ。山 理嗣
あきらめるまであきらめる
な! 山田 将功
高2で遊ぶと苦労する。山本 大輔
洛星の3年間は、いい思

い出 山本 浩史
イカオ! かつこい! いかおの
山本 祥太
夢と願と人生は大切に!!
米倉 和秀
いろんな人に支えられて進
んでいく。米澤 裕之
ENDER 神田裕太郎
洛星はいいトコです。いや、
ほんと。金子 望
先手必勝
金丸 栄樹
ドント ビイアフレイド!
河原 祐介
人生はまさに無常迅速なり。
木元 康人
がんばるぞ
木下 雄介
洛星陸上部をよりよくお願
いします。北田 雄太
来年も調査取りに来ます。
小杉 雄太
後悔先に立たずお貴様何だ
何をすゴフ。栗田 雄介
身長がのびますように
タブローをありがたう。
松田 圭介
背水の陣! 別に望んでなか
つたけど... 森川 直紀
最後俺だけ遅刻しつすい
ません! 村井 克行
過ぎたるは猶ほ及ばざるが
如し。村上 翔
利那よ止まれ、お前はいか
にも美しい。村松 喜臣
命は代用が効くから命たり
得るのです。中川 亮
これからは人のために行動
する。中野恵一朗
後輩の皆さん受験頑張つて
ください。中野 剛佑
高2の子達はちゃんと勉強
しろよ!! 梅田 芳人
世界一の外科医になつてや
ろ! 梅原 健輔
4月からは駿台京都校
少年易老、学難成。
渡辺 利光
やつとランドセルから卒業
しました! 山田 勇気
6年で成長したのかよわ
からない。山下 紀行
神がやらなきゃ人がやる。
柳 雄太
今年のおみくしは凶でした。
安村 好永
今年はずいぶん神様様や!
コボコボコボコボコボ
コボコボ。吉田 昌泰
コボコボコボコボコボ
コボコボ。吉田 昌泰
楽しくて、やたらはやか
つた。吉川 初
Y村、F岡この時期にスベ
りすぎ! 吉見 一人
つかれた。行松 直

目標を持って頑張つて下さ
い。佐川 友哉
絶望と悲しみから希望が生
まれます。高橋 一久
卒業できて良かった。
もっと、恋が、したかった
結果が全て! 田中 健一
幸せに生きるって難しいな
あ... 東郷 一行
鵜飼 佑輝
ボコボコボコボコボコボ
ボコボコボ。大林 正和
新入生諸君は極力運動部に
入りなさい。竜 彰

板尾創路に一票
中田 昇輔
「我が道を行く」の高校生
活やつた。仁平 寛士
ありがとうbソフッドファ
イター。西川 進也
今わかつた! 勉強の大切さ
が... 野田 健介
ピンチはチャンスなり!
野村 晃久
6年ぶりに勉強をがんばつ
た。野瀬 昌城
敗因はキングです
緒方 瑛人
打倒ショッカー!
劉 天曉

3年間楽しかった。
少年老い易く学成り難し
只今十七歳。酒巻 太郎
まだ人生の四分の一だ、頑
張ろう。重原 良平
高2の時、もっと勉強しと
けば。所司原 賢
高校3年間楽しかったです!
瀧上 雅雄
HOT&CRAZY! 洛星
最高!! 田中 謙啓
ドライアイスはもう爆発し
ないよ多分。谷澤 佑介
青は藍より出でて、藍より
青し。宇野 大雅
3年間よくがんばつた
したこと全部、自分に還つ
てきました。村元 暁文
一言言える事は喋はそん
に強くない。中島 大介
洛星にきて楽しかった3年間
だった。奥 啓輔
充実した3年間だった。
奥村 幸司
夢は、人生完全燃焼するこ
と。大平 尚賢
なすかかんなんにこにえま
のじに。齋藤 亮祐
六年楽しかった。いい学年
やつた。坂崎 貴俊
あやや断然に良い! 下堂 康太
悔いの残らぬ毎日毎日大
切に! 高橋 悠介
omoidenmyhe
ad状態。高島 皓平
やるだけやつた。あとはよ
ろしく。武蔵虎太郎
常勝
長いようで短い3年間だっ
た。田中 秀彦
ペンゼン環ニトロ化還元カ
ンプリング。谷尾 信
熱く生きる
寺井 良太
最近、時間の流れが早すぎ
ると思う。富永 理人
なかなかならなくまでねば
れどとき。島原 靖史
第一志望は駿台だ...
山本 浩太
大学受験なんて...
山下 真寛
奇跡は起こるものでなく起
こすもの。八並 裕治
この前入学したと思ったの
に... 吉田 充宏
最後の一年がしんどかった。
漫 英司

洛星に入つてほんとに良かつ
た。長谷川剛基
アルコールアルデヒドにカ
ルボン酸。林 直毅
ヤフーBBスタジアムで待
つてわ。東口 公哉
色々あつた。
平野 翔太
最後の一年、異様に長い。
池田 葵尚
将来カローメイトで家を
建てます。伊藤 義浩
やつてしまつてい...
通学時間が長かつた
笠井 淳志
模倣することが伝統の継承
ではない。喜多 僚
あつという間の3年間でし
た。小橋川祥吾
大人になりたい。
園村 大喜

3年間楽しかった。
少年老い易く学成り難し
只今十七歳。酒巻 太郎
まだ人生の四分の一だ、頑
張ろう。重原 良平
高2の時、もっと勉強しと
けば。所司原 賢
高校3年間楽しかったです!
瀧上 雅雄
HOT&CRAZY! 洛星
最高!! 田中 謙啓
ドライアイスはもう爆発し
ないよ多分。谷澤 佑介
青は藍より出でて、藍より
青し。宇野 大雅
3年間よくがんばつた
したこと全部、自分に還つ
てきました。村元 暁文
一言言える事は喋はそん
に強くない。中島 大介
洛星にきて楽しかった3年間
だった。奥 啓輔
充実した3年間だった。
奥村 幸司
夢は、人生完全燃焼するこ
と。大平 尚賢
なすかかんなんにこにえま
のじに。齋藤 亮祐
六年楽しかった。いい学年
やつた。坂崎 貴俊
あやや断然に良い! 下堂 康太
悔いの残らぬ毎日毎日大
切に! 高橋 悠介
omoidenmyhe
ad状態。高島 皓平
やるだけやつた。あとはよ
ろしく。武蔵虎太郎
常勝
長いようで短い3年間だっ
た。田中 秀彦
ペンゼン環ニトロ化還元カ
ンプリング。谷尾 信
熱く生きる
寺井 良太
最近、時間の流れが早すぎ
ると思う。富永 理人
なかなかならなくまでねば
れどとき。島原 靖史
第一志望は駿台だ...
山本 浩太
大学受験なんて...
山下 真寛
奇跡は起こるものでなく起
こすもの。八並 裕治
この前入学したと思ったの
に... 吉田 充宏
最後の一年がしんどかった。
漫 英司

ⅢA 中村岳人



一月三十日(金) 晴れ
四十七期最後の授業の日
大学入試センター試験も
終わる、各々の点数・出来
ばえを眺めつつ、最終的に
どの大学へ出願を決めるの
かといった決断をそれぞれ
に迫られ、悲喜こもも、出
席もかんばしくない感があ
りました。日頃から地に足
のついた勉強をこつこつと
続け、折角の機会と思っ
て朝礼時にいた生徒に対し
て、その定4限目の休みに
「先生がついてくれたら続
けてやってもいいというこ
となのでグラウンドに来てほ
しい」と請われ、結局暫く
の間サッカーの観戦につき
添います。思い返せばこの
一年、スポーツ大会など
をHRで企画でき、こう
してクラスの生徒達がいき
いきと球技を楽しむ姿など
ついぞ見ることもなかった
のが何だか微笑ましく、し
かもそこには久方ぶりの顔
がまたの人も、今日中に調
整がたつた人も、

ⅢB 井上崇子



四十七期のおみなさん、卒
業おめでとうございます。
それぞれの未来に向かって
歩き出したみなさんの姿
を想像しながら、前途に幸
あらんようにとお祈りして
います。これが皆さんにお
話する最後の機会かと思
いますので、「贈る言葉」
の代わりに、一つ、私がよ
りどころとしていることを
お話しします。(クラスでは
最後にお話したことなので
すがもう一度、
みなさんは、自分の心を

査書の発行や手渡しを終え
られるだろうか...などと
考えながら、4限目のHR
で2月の予定・補習の伝達
また翌日から中学入試の
会場設置のこともあつて、
教室の清掃をやらせねばな
らなかつたのですが、くし
くも3限目(つまりHRⅢA
の最後の授業時)は体育で
した。4時間目はHRⅢだ
けど、学年でなくクラスで
やることになっているので、
体育の先生が許可したなら
ゆつくりと話させて、少々
喰い込んでおええよ。一日
頃の受験勉強で体を動かす
ことがめつたり減つたであ
ろうと、折角の機会と思っ
て朝礼時にいた生徒に対し
て、その定4限目の休みに
「先生がついてくれたら続
けてやってもいいというこ
となのでグラウンドに来てほ
しい」と請われ、結局暫く
の間サッカーの観戦につき
添います。思い返せばこの
一年、スポーツ大会など
をHRで企画でき、こう
してクラスの生徒達がいき
いきと球技を楽しむ姿など
ついぞ見ることもなかった
のが何だか微笑ましく、し
かもそこには久方ぶりの顔
がまたの人も、今日中に調
整がたつた人も、

が激増していました。つい
時間が流れ、結局これで4
限時の大半を費やしました。
調査書の注意・受験番号調
査の協力の手配、最低限の
伝達のみで昼をまわりま
したが、その場にいた皆が
よくきてくれたように思
います。しかし大掃除は出
来ず、後で自分がやるか
...と終礼を終えました。
一息して、もう時計は一
時をまわっていました。廊
下ですれ違った井上先生
におこっているから、行っ
た方がいい、と言われまし
た。何のことも、否何をや
らしたか?と不安を抱き
恐る恐る覗いてみると、そ
こに残っていた生徒達が、
言われもしないのに水拭き
で黙々と教室掃除をしてい
ました。平素、決められた
当番すらちゃんと出来ぬ人
も居ただけに、この光景は
正直に胸をうたれました。
— 様々なことがあつた
この一年でしたが、この一
日は感動でした。改めて
この場をかりてお話を言
せてもらいます。二年間の
担当で、ふつつか者の担任
でしたが、幸せを運んでく
れた諸君です。心から感謝
して、有難う。祝前途!

ⅢC 石橋和幸



47期生の皆さん、卒業
おめでとうございませう。君
達とは一年間(実質的には
9ヶ月間)ですが、の付き合
いで短い期間で楽しかつた
です。特に、君達の将来に
ついて一緒に語れたことは
忘れません。
申し訳ないのは、授業を
かなりハイペースでやって
しまったことです。なかに
は、ついていけなかつた生
徒がいたかと思ひます。
それと、受験勉強に終始し
てしまったことです。時間
もなかつたし、君達の大学
合格というのを第一に考
えて、スマートな授業を目
指しました。雑談もほとん
どなしでした。これが良
かつたのか悪かつたのかは
分かりません。少なくとも
近い未来には良かつたかも
しれませんが、遠い未来に
は決して良くなかつたと思
ひます。僕が教員としての
夢は、「日本から世界に通
用する研究者を育てたい」、
「自分の教えを生徒からノ
ベル賞をとって欲しい」と
いうのがあります。過去の
優秀な研究者のコメントを
見ると「学生時代の経験が
〜」と云うのをよく目にし
ます。色々経験(実験)し
て欲しいかつたです。大学へ
行く前には是非研究者、特に
自然科学としての作法を
学んで欲しい思いは強かつ
ていました。しかし、この
一年間は少なくともその思
いを殺して授業をしていま
した。研究者としての作法
は大学へ行ったならなんと
か学ぶか教授にしろか
か(僕はこのパターン)で
身につけてください。でも
入試問題が出来るというの
も研究者としての大切な能
力であると思ひつています。
面白い入試問題も多いです。
受験生には問題を解く余
裕はないですけどね。
それで、研究者(大学に

行く人は全員なるのです)
になる君達に一つだけアド
バイスですが、自分の経験
(実験)したことを第一に
信じて行動することです。
人から聞いた話でいいこと
があつても必ず経験(実験)
することです。恋愛もそう
です(笑)。青色発光ダイ
オードを発明した中村修二
さんは、人から聞いた話で
は青色発光ダイオードの材
料としてSiCが一番だと聞
いていたらいいですが、自
分の経験からはSiCがいい
とずっと信じて、大発明に
つながりました。とにかく
自分の興味あることを何で
も積極的に経験してください。
洛星の卒業生はそれが
出来るはずですよ。迷つた
ときは自分の経験を第一に
信じて進んでください。
最後に、是非是非、四十
七期生の諸君の名からノー
ベル賞を受賞してくれる人
が出てくれるのを待って
います。石橋はノーベル賞
を狙っていないのか?とて
...ふふ。

47期生へ贈る言葉

ⅢD 笹川 俊



四十七期生の皆さん、ご
卒業おめでとうございませう。
早いもので皆さんが洛星高
校へ入学してから三年がた
ちましたね。勉強はもちろ
ん諸活動に積極的に取り組
む姿がいろいろな場面で見
られたこと、一人ひとりが
いろいろな経験を通過して
大人へと成長していく姿が
間近で見られたことは、担
任団の一員としてとても光
榮に思ひます。現時点では
過去の思い出よりもこれか
らのことで頭がいっぱいか
もしれませんが、改めて高

校生活の三年間を振り返つ
てみるという感じがする
ものがあると思ひます。
これまで折に触れて、ど
この大学で何を学び、そ
の後どんな職業に就きたい
のかを考えること以上に、そ
うした経験を通過して自分
がどんな人になりたいのかと
いう理想像を大切にしてい
たい。次代を担う人材とし
て自ら求めるものを考える
ことが、進んで生きていく
こと、進んで生きていくこ
と、皆さんに語りかけてき
ました。皆さんは今それぞ
れの高い志に向かって進め
うとしていますが、その目
標は決して自分ひとりでの
達したものでなく、さま
ざまな場面で行っている人
とのかかわりを経験してき

ⅢE 青木五郎



四十七期生諸君、卒業お
めでとう。君達の担任と
して二年間があつたという
に過ぎないかもしれませんが、
楽しい二年間をありがとう
ございました。私はこの二
年間を楽しく過ごすことが
できました。君たちは洛星
での生活を楽しむことがで
きたでしょうか。
皆さんにお願いがありま
す。どんなときも挑戦す
ることを忘れないでくださ
い。勉強でも仕事でもスポ
ーツでも、とにかくしり込み
せずにチャレンジして下さ
い。一生懸命努力してだめ
だったなら、やり直しまし
よう。そして新たに挑戦す
ればよいのです。常に挑戦し
努力し続ければ明るい未来
が開けるでしょう。

ⅢF 中山英治



Be men of competence, conscience and compassion.
— 高い能力を発揮し、正しい判断力を持ち、他者と共感できる人 —

上の言葉を卒業アルバムの寄せ書きに記しました。
compassion は passion (感情) を com (共にする) というラテン語起源の語です。sympathy という語もギリシア語起源で同じ形態です。本来は「共感する・他者の感情に調和する」ということであつたのですが、現在では compassion も sympathy も日本語の「同情・哀れみ」と同じ意味でのみ通常用いられています。

ドイツ語には「同情」を表す語として「Mitleid」と「Mitfreude」という二つがあるようです。「mit」は「共に」という意味であり、「leid」は「苦しみ、悲しみ」、「Freude」は「喜び」ですから、前者は「共に苦しむ事」、後者は「共に喜びること」ということとなります。もっとも、英語の「compassion」や「sympathy」にあたる「Mitgeföh」(共に感じる)という語もあるのですが。

喜びに共感するより悲しみに同情することのほうがより簡単なことです。私達とはもすれば他人に不幸なことがあるとわずかな優越感を抱き、他人の不幸を気の毒に思うとなんとなく気持ちがよくなるものです。しかし誰か知人が喜んで時、輝いている時、うまくいっている時などには私達はどれだけの共感を覚えるのでしょうか。その人と自分の感情を調和させることができるでしょうか。むしろ苦々しさや妬みといった心の痛みを感じるのではないのでしょうか。

喜びであれ悲しみや苦しみのあれ、どちらに共感することも指せるはずの「compassion」や「sympathy」が、なぜか人の悲しみや苦しみに共感すること、というニュアンスをより強く帯びてしまっていることはどこか考えさせられるものがあります。日本語でも「同情」というと、本来は「共感」ということであり、どんな感情についても使える語であるはずなのに、人の悲しみや苦しみに共感するという意味を色濃く帯びていることは偶然の一致でしょうか。

語の本来の意味から言えば、men of compassion は「他者の苦しみを共有するだけでなく、他者の喜びも共有できる人」ということとなります。men of competence, conscience and compassion を「有能で、良心的で、同情的な人」と単純に訳すな、がポイントです。



中高入試終了

去る一月三十一日、二月八日に洛星中学校入試前期及び後期が、二月十日には中学校前期の志願者数は五七六名、その内受験者は四七四名、合格者は二二七名、倍率は約二・二倍、中学後期志願者数は三九八名、その内受験者は二五九名、合格者は五九名、倍率は約六・七倍。
今年で最後となる高校受験の志願者数は七九名、受験者数は四八名、合格者は五八名で倍率はおよそ一・四倍であつた。

- 「タテのかぎ」
- 英語の東南東の略
 - 4月1日エイプリルフール
 - 飲めないアルコール
 - 陳列棚を英語でいうと？
 - 護岸用石材
 - 馬の背にのせるもの
 - 屋根裏部屋
 - きめこまかいこと
 - L. D. K.
 - 斧で割って燃料にするもの
 - イギリス南部にある石でつくられた観光名所
 - 自動文書作成編集装置
 - 阪神ファン○○○○
 - 巨人
 - 臭いものに○○する
 - 教皇権絶頂期の教皇
 - 3世
 - 童話作家○○兄弟
 - 「灰汁」
 - ボンスレスでもプレスでもない
- 59 57 55 54 52 51 48 45 43 40 39 37 35 33 32 31 29 28 27
- の 赤○○、二重○○ 顔の一部、○○を染める
- 59 57 55 54 52 51 48 45 43 40 39 37 35 33 32 31 29 28 27
- 正気の○○ではない 天照大神の弟 焼物が名産 山十石？ 洛星の10月行事○○ ○○記念ミサ ナビゲーション、略す と？ これがあつてこそ風呂場 ○○○海峡大橋 〇〇海 〇〇 特別な任務 陸海 〇〇 湯を沸かすためのもの 西洋風のあて ド、〇、〇、フアン 手紙が来たら、書くも



1		2		3		4		5	6		7			
								8						
9	10									11		12	13	
14												15		
16		17		18	19		20	21			22			
				23							24			
	25		26							27				
28						29		30	31			32		
											34	25		
36	37		38	39					40					
41						42	43			44				45
46				47	48		49							
		50	51			52			53		54	55		
56	57		58					59						
60						61						62		

「ヨコのかぎ」

- 「IT」を略さず言うとき
- 阪神ファン=○○党
- 飲めるアルコール、CH₂H₅OH
- 化学実験で多用、○○○○試験紙
- イカの吐くもの
- 帰り道
- エピソード、○○の多い人
- 疑似餌釣り
- 一定しているさま
- ゴルフコースで、パットを行う区域
- 24の近くから打つこと
- ・フセイン
- 多くのアクションゲームはヨコ～
- 洛星では○○○○は許可が必要です。
- 自治体単位、市町○○
- 電話代が心配
- ～と幼児と老人はバスが無料
- の箱舟
- チューリップは3枚
- 「寒蟬」
- 怒っている様子
- 緑色の果物、鳥にも同じ名前がある。
- 鉄がくつつく
- 「熨斗」
- を盛られる、○○をあおる
- 壮年女性の悩み、～障害
- Shall we dance?
- エルサレムの南にある町
- 正月の風物詩
- 火を入れて煮炊きしたりする設備
- ベトナムの南部の都市
- TNT トリニトロ○○○○
- スイスとイタリアの間にある山
- できることなら遭いたくない

編集後記

雨の日も風の日も、テスト前でも単位が危なくても毎日毎日……そして、高三になっても、あ、後輩がいない……。

（追伸・高三担任の方々、せめてもう少し切を気にしてください）

（仮進候補生）

「この原稿が終わったらようやくお役御免だな。い



タブローは何かとあっても面白い？

少し前（といっても去年の秋頃だが）、ある同級生に、「タブローって何が面白いの？」と聞かれて困ったことがある。ちなみにその同級生は、文芸では相当頑張っているにもかかわらずタブローは全く知らない。確かに、かなり自由奔放（といったら言い過ぎか）文化祭を氏々と、タブローは宗教色が強くて制約が多く、つまらないように見えるのかもしれない。果たしてその見方は正しいのだろうか。

その年のタブローを牛耳るメンバーの性格は文芸P.L.と申し。これはこの前のタブローの話だが、全く仕事をしていた（？）といううかがいが見えなかった。あるチーフがいたのだが、普通ならば即クビになりそうなのだが何だかんだあつたあたりにはその性格が垣間見える。思ひかえすと図々しくプログラムにも名前がのつていたが、それだけ何もしない奴がいても何とかなってしまふあたりはすごいと言つべきなのかな。むこうだ。もつともそうなるか、そのパート（とそのチーフ）は本当に必要なのか、という新たな疑問がわいてくるが（と、訳の分からぬことを書いてるが、このような話は私を含む大多数の一般人には関係のないことだからあまり気にしないでほしい）。

さて、考えてみると、タブローは文芸と違つて不思議なものだと思ふ。例えば、他のパートの先輩や後輩と知り合いになることが全然珍しくないということや、「一年限り」の参加者が意外と少ない（特にスタッフ）ことだ。制度的には文芸と大して変わらないのに、この差はどこから生まれてくるのだろうか。

一つには、最終的な目標はみんな同じだというのがやあ、局員一人一つのはつらかった。

「なんだ、この胸騒ぎは。なにが、決定的ななにかを見逃しているような感覚」

「どうしたんだよ、そんな恐い顔して」

「なあ、俺達はずいぶん高3になつたら部活を引退すると思つた」

「そりやもろろん、受験に専念するためだろ？」

「条件？部を任せられる後輩がいることか？」

あるからだと思う。タブローには、舞台監督、装飾、照明、演出、効果、総務、衣装など、色々なパートがあつて色々な仕事をしているが、みんな「タブローを成功させる」ためにやっている（ただ、実際に仕事中のことは意識している人はほとんどいないだろうとも思う）。結局は一つの劇だからだ、と結論づけるのは簡単だが、これは文芸とは決定的に異なる点ではないだろうか。そして、パート同士のキヨリが近いということ。例えばステレオの舞台では、色んなパートの人が働いている。この近さのおかげで、他パートの人や仕事で多少は分かる。そうして知り合った人同士で、タブローが終わつたあとでも、話が分かる。このあたりは、他のパートに入つていても他のパートのことはほとんど分からない。文芸とは一線を画す点だと思ふ。しかもタブローの話は、弾むときは、本当に弾む。これはやはり、ほとんどの人がタブローに没入するのは一週間ほどだから、あまり他の人のレベルの差がないうちうちは、あつたとしても相手の程度が大体分かるからそうそう差がありすぎて困ることがないからだと思う。

「そうだ。しかし、俺達新聞局には後を任せるべき後輩がいない」

「大丈夫だって、いつもみたいに年末には高2が集まつて卒業号を出すって」

「確かに、いままで新聞局は失われそうにならば舞い戻り、忘れられそうにならば蘇つてきた。しかし、それがいつまでも続くとは限らない。せめて後を任せる後輩を作らせてから彼らを引退させよう……。顧問がそう考えているんだろ？」

かかして、ちよつと非日常的なノリで遊んでいくタブロー期間の楽しさを知つた人は、やめられなくなつてしまふ。不幸にして、その楽しさを見いだせずにやめてしまふ人もいないが、一度もやらずにつまらないと決めつけるのはナンセンスというもの。タブローの奥は深く、中には世界中にこのしかないのでは、という妙なものもある。

そんなわけで、一生に一度しかない中学高校生活を洛星という「行事校」ですすめよう。体験できること何で今更のうちやっておかないとさつと後悔やむことなるだろう。まだ文化祭も終わつていない今こんなことを書いても忘れられるかもしれないが、一度味をしめたら手放せなくなるタブロー、ぜひ一度お試しあれ。

局長 H.I.D 中村彰宏
副局長 H.I.A 富岡 潤
顧問 萩野一茂
子安克実

「ま、まあ……」

「そう、俺達高3になつても新聞局を引退できない可能性が高いんだろ！」

「な、なんだってー!!」

（三バヤシ 賀茂）

